

市民政党

草の根

<http://kusanone-iwakuni.net/>

第22号 2019年4月

発行 市民政党「草の根」

代表 井原 勝 介

住所 〒740-0017

山口県岩国市今津町

4-11-20

コーポ株本 1階

電話 0827-21-9808

県議選を終えて

改元という大きな歴史の節目となる今春、統一地方選挙の前半戦が3月29日告示、4月7日投開票で行われました。私も皆様の熱いご支援のおかげで、3回目の当選を果たすことができました。

9日間の選挙戦を振り返りますと、ちょうど春休み中ということもあり、子供さんたちからかわいい声援もいただきほっこりしたり、各地で桜を見ること

もできました。由宇町の海辺から、錦町の羅漢山のふもとまで、広い広い岩国市を隅々まで走って、高齢の女性の方から過疎化や独居に對する不安を



基地問題等、皆さんの安心安全を一番に取り組んでまいりますので、どうぞたくさんの方の声を私に届けてください。また、政務活動費については、引き続き、全額の受け取りを辞退するとともにその適正化に取り組みます

女性の声を大切に やさしい県政を

井原すがこ

今回の選挙では、ポスターが487枚掲示され、選挙公報の発行、選挙ハガキの郵送（8千枚）、選挙ビラの配布（1万6千枚）が完了しました。うかがったり、若いお母さんから育児やいじめについて相談したいとの要望など、多くの声を聞かせていただきました。

これまでの8年間の経験をもとに、特に女性の立場に立って、人口減少や子育て、災害対策、

事前の段階から選管がもっと積極的に関与し、公開討論会や演説会の開催、テレビ放映やインターネット、フェイスブックやツイッターなどのSNSも活用した幅広い情報発信を行うなど、選挙のあり方を根本的に見直す時期に来ているのではないかと。

先の県民投票により沖繩の意思は明確に示されたが、国により無視されたまま。まさに民主主義の危機であり、私たちにとても他人事ではない。そこで、今年の「草の根大会」のゲストとして、県民投票を主導した若者元山仁士郎さんをお招きする予定です。ぜひご参加下さい。

日時 6月2日（日）14時開始
場所 岩国市福祉会館3階

失言を繰り返して辞任した五輪担当大臣は論外、国土交通副大臣の「付度」発言は、政治の裏側を垣間見せてくれた。『第二関門橋』、誰が考えても必要性の乏しい、壮大な無駄遣いであるが、首相や財務大臣の指示があれば簡単に予算がつくのである。



県議選を終えて、気になるのは、やはり投票率の低さ。今回、岩国・和木地区で約44%まで低

る。魅力的な選振肢を示すことができない政治の側にも責任があるが、選挙のやり方にも問題あり。

民主主義の危機

代表 井原勝介

しかし、告示の数ヶ月前から、いわゆる後援会活動として、選挙戦が事実上始まり、政策資料の配布やミニ集会などが行われるが、こうした活動は候補者の自由によって任されており、幅広い情報提供という意味では限界がある。

千枚）などが行われ、そして選挙カーが走り回る。これらはすべて、選挙告示から投票日の前日までの9日間に限定される。



4月7日の深夜、NHKテレビが井原すがさんの当選確実を告げ、長かった選挙戦が終わった。

年が明けて各地で開催されたミニ集会にもほとんど顔をだし、「前回同様のご支援を」とお願いして回った手前、今回の2位当選は不満の残る結果である。

県議選を振り返って

後援会の代表として、まずは、お詫びを申し上げたい。思い返してみれば、支援者名簿作り、選挙ハガキの印刷、告示日のポスター貼り、新聞折り込みチラシへのシール貼りなど、人手のかかる作業が、支援者の献身的な努力で、予想外のスピードで終わり安心してしまったこと、また「井原さんは大丈夫よ」という口車に載せられ、切迫感を失っ

てしまったこと、などが、反省材料として思い浮かぶ。

父親を亡くすという悲しみに耐え、看病疲れの体に鞭打って9日間の選挙戦を走りぬいた井原すがさんの不屈の精神力が、周囲を取り巻く支援者の熱い思いに支えられて、2位とはいえ1万1千票を獲得する原動力になったと考えられる。大いに誇ってもよいのではないだろうか。

南部博彦

井原すがご後援会代表

これで、県議会への花道は、どうにか整った。後は、井原県議が我々の期待に応えて、どう県政の改革に挑むかである。大いに期待し、支援の輪をさらに広げたいと願っている。最後に、幾多の作業を、黙々とこなしてくれた支援者の皆さんに、改めて「ありがとう！ご苦労様！」と申し上げ、筆を置く。

公約一口メモ
33,600,000円

上記金額は、井原議員が2期8年の間に請求すれば受け取れた政務活動費です。全議員47名のなかで只一人これを受け取らず、そして、それに勝る議員活動を行いました。

街宣車の先行作戦

県議選の最終日、4月6日(土)晴、朝8時20分に選挙事務所を出発した。今日の目的は、4人でチームを組んで街宣車に先行して演説場所に行き、場所の確保と通行人に候補者が来ることを宣伝することになった。

予定の演説場所

効率的な街頭演説が可能

は市内9カ所のスーパーマーケットの沿道となっており、朝8時50分に最初の通津に到着して9時半に到着予定の街宣車を待った。

その後30分間隔で平田、南岩国、尾津、三笠、麻里布と進み、昼食休憩後、午後12時半過ぎに山手に行き、錦見、川西に移動した。最後の川



西では、街宣車に合流して演説終了まで応援し見送ってから午後3時前に事務所に戻った。各演説会場では、街宣車が到着するまで、各々が2種類の幟旗をかざして、通行する人に手を振ったり、挨拶したり、頭を下げたりした。反応があつて、手を振ってくれたり、激励してくれたりすると安心して嬉しく思える一時であつた。ただ、外国人が手を振ってくれたのには戸惑った。歓迎されていると勘違いしたかもしれない。反省を踏まえて、演説時間や各地区での演説内容を表示したりすれば、通行人により興味をもっていただけたかもしれません。皆さんご苦労様でした。(藤岡信彦)

まかない

選挙関係者の食事、これもボランティアで作られ、活動の源になりました。



各所で沢山の応援をいただき元気ができました

選挙中のスナップ写真、ほんの一部ですがご覧下さい。

告示されてスタートした選挙は、岩国・和木地区も例外なく選挙に

関心がないことが手に取るように

わかる雰囲気でした。しかし、

「草の根」の活動は、選挙のため

のものではないから、連日のよう

に温かい

ポランティ

アがたく

さん集まっ

ていまし

た。日に

ちを重ね

井原す

がござん

ご当選

おめでと

うござい

ます。

井原す

がござん

ご当選

おめでと

うござい

ます。

井原す

がござん

ご当選

おめでと

うござい

ます。

見えない権力・金力との戦い

輝いて、若々
しくのびの
びとしてい

ます。

街宣車のドライバー、手振り、
ウグイスのチームワークも目ごと

によくなくていきます。電話隊の

声にも熱

が入りま

す。燃え

つきて、

選挙の結

果は宝物

持ちでいっ

ぱいにな

りました。

県民の

暮らしを

良くする

ために、

井原すが

ござんに

は県議会ですますます活躍してい

だきたいと思ひます。

少し寒いけど桜の花が満開の中

走りぬいた、9日間の選挙戦でし

た。

力強い飛び出しや熱い握手

すがござん本
当にお疲れ様で
した。

そして、これからパワーアッ

プして頑張ってください!!

(広中はるみ)

選挙期間中は候補自らが政策を訴えて選挙
区をくまなく巡回し支援をお願いします。今選
挙で井原すがは約2千キロ走破しました。これ
をサポートするのがウグイス嬢です。2名
の方に同乗記を寄せてもらいました。

選挙たけなわのころ一人の女性が事務所を
訪ねて見えました。突然の訪問でしたがその
時の感想を頂きましたので紹介します。

事務所を突然訪問して

事務所
にとて
も安心
感を得ました。
当初は、各立候補
者の方のもとに話を
うかがう予定でした
が、井原さんの思い
や信念を聞き、「あ、
この人にお任せして

政治に関心を向け 行動を起こす決意

もっと関
心を向け
ていかな
いといけ
ませんね。私のような子育
て世代や若い人たちに関心
を持ってもらえるよう、私
も、何かしらの行動は起こ
したいと思っています。
(升谷光子)

「草の根」がたくさんの方
に理解され、党員が増える
ことを心から願うのは私一
人ではありません。
この火を絶やすことなく
続けたいと思います。
(諏訪さずえ)



元山仁士郎プロフィール

1991年沖縄県宜野湾市出身の市
民運動家。「辺野古」県民投票の
会代表として2019年沖縄県民投票
のための条例制定を求める活動を行った。
法政大学沖縄文化研究所奨励研究員。



市民政党 草の根 大会開催

ゲスト

日時：6月2日(日)

14時～16時

場所：岩国市福祉会館3階

沖縄の県民投票を主導した

もとやまじんしろう

元山仁士郎さん



市民政党 草の根 事務局

党費の納入について

「草の根」の活動は、みなさまのご支援により支えられています。

今年度（1月～12月）の党費の納入は、以下の要領でご協力よろしくお願いいたします。

- ①お届けした振込み用紙で
- ②地域のお世話人へ
- ③直接事務所へ

党費 党員 1千円
特別党員 1万円

草の根事務所へご一報いただければこちらから出かけてまいります。

近くへお出かけの際は、
「草の根」事務所に
ぜひお立ち寄りください。
(9時半～12時、14時～17時)

かつすけウラ話

風邪とマスクと顔

4月初めに風邪を引いた主人は、熱は出ないものの咳に悩まされ人にうつしてはいけないとマスクをしていま

した。街を歩いていると小さな男の子に「おいちゃん子供のマスクしてるの?」と聞かれ、「顔が大きいかからマスクが小さく見えるんだよ」と恥ずかしそうに答えていました。

(すがこ)

草の根ネット案内



ちよこっと



選挙運動の中心は、選挙カーによる街頭宣伝であるが、その他の選挙事務所の活動を一部紹介する。

ポスターの掲示

約1週間前に市内

480箇所あまりの掲示板の住所と地図が交付されるので、事前に福祉団体や各地区世話人に依頼しておき、告示とともに手分けして貼る。

選挙運動の裏方

選挙ビラの配布

1万6千枚のビラを新聞折込

選挙ハガキの発送

8千枚のハガキを準備し、告示後発送する。その名簿の調整と宛名の印刷に相当の時間と手間がかかる。

電話による投票依頼

と街頭演説の際の配布に使用する。告示日に交付される証紙を一枚一枚貼る必要がある大変な作業になる。

温かいご好意に感謝

選挙期間中、関係者の駐車場確保に苦慮しておりました。今回の選挙に当たり、事務所家主様とご近所の方のご好意で、事務所近くに駐車場が確保でき大変助かりました。心から感謝申し上げます。

こうした活動は、すべて選挙期間（告示日から投票日の前日まで）に限り行うことができる。とされているが、アメリカなどで一般的に行われているいわゆる戸別訪問は禁止されている。

県議会をインターネットで見よう

県議会は山口市と遠い、仕事などで関心はあっても傍聴しづらいと聞きます。今年の春から中継システムが更新され、パソコン、スマホ、タブレットで視聴が容易になりました。視聴はいろいろ選択できます。

<https://yamaguchi-pref.hotstreaming.info/> をクリック → 山口県議会インターネット中継をクリック → 視聴したい項目を選択